

令和2年度 e・アンケートモニター
第1回アンケートNo.2 調査結果
テーマ「食品ロス削減に向けた取組について」

I 調査の概要

1 調査の目的

まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」は、日本国内において年間約612万トン発生しており（平成29年度国推計）、持続可能な社会を形成するためには、その削減が重要な課題となっています。

山口県全体では、家庭や外食産業、製造・流通などから、年間約6万7千トンの食品ロスが発生しており、消費者、事業者、行政等の多様な主体が連携して削減に取り組んでいく必要があります。

そのため、本アンケートは、今後、山口県において、食品ロス削減を推進していくための基礎資料として御意見を伺うものです。

2 調査実施期間

令和2年7月17日（金）～7月31日（金）

3 調査対象

令和2年度e・アンケートモニター 116人

4 回答状況

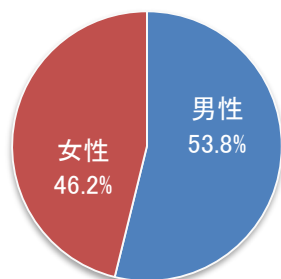
回答者 104人（回答率 89.7%）

5 調査担当課

山口県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課

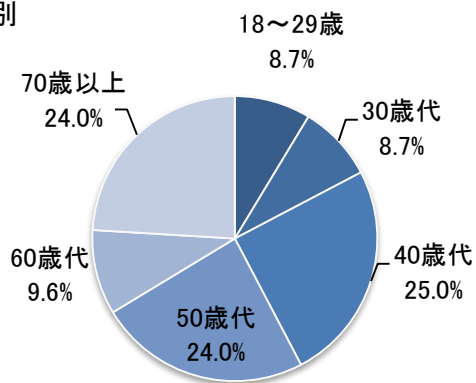
II 回答者の属性

■性別



| 区分 | 人数 | % |
|----|-----|-------|
| 男性 | 56 | 53.8 |
| 女性 | 48 | 46.2 |
| 計 | 104 | 100.0 |

■年代別



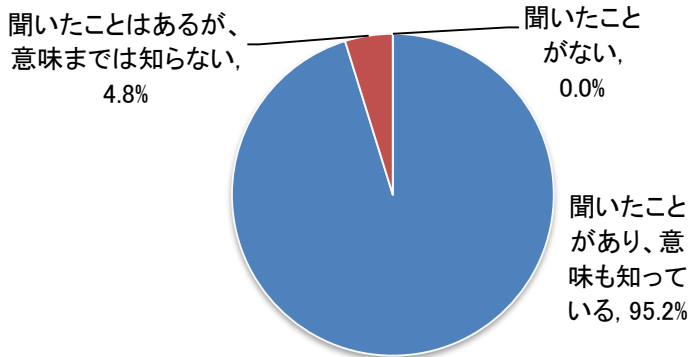
| 区分 | 人数 | % |
|--------|-----|-------|
| 18～29歳 | 9 | 8.7 |
| 30歳代 | 9 | 8.7 |
| 40歳代 | 26 | 25.0 |
| 50歳代 | 25 | 24.0 |
| 60歳代 | 10 | 9.6 |
| 70歳以上 | 25 | 24.0 |
| 計 | 104 | 100.0 |

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合があります。

Ⅲ 調査結果

【食品ロスの認知度】

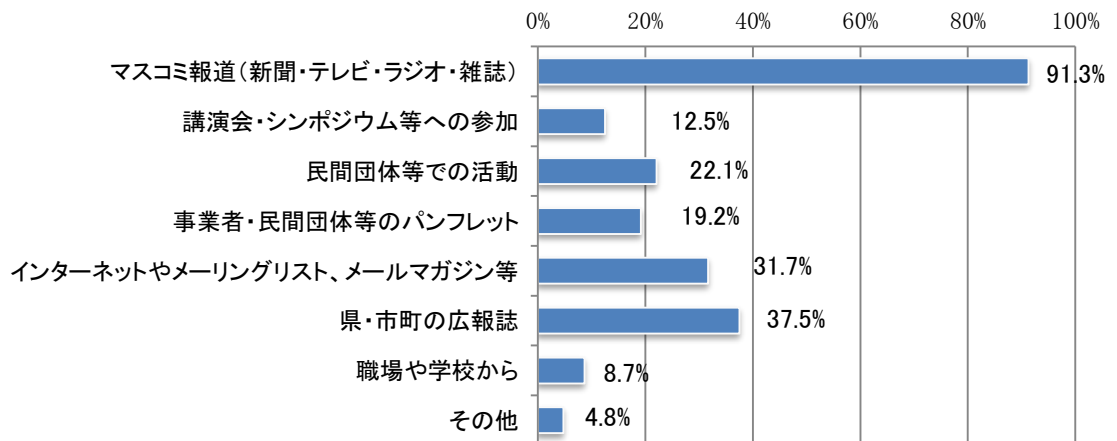
Q1 あなたは、「食品ロス」という言葉を聞いたことがありますか。(1つのみ)



| 選択肢 | 人数 | % |
|---------------------|-----|-------|
| 聞いたことがあり、意味も知っている | 99 | 95.2 |
| 聞いたことはあるが、意味までは知らない | 5 | 4.8 |
| 聞いたことがない | 0 | 0.0 |
| 計 | 104 | 100.0 |

Q2 【Q1で「聞いたことがあり、意味も知っている」又は「聞いたことはあるが、意味までは知らない」と回答した方】

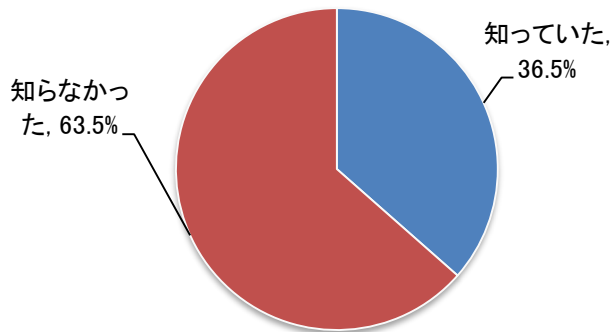
あなたは、「食品ロス」に関する情報を何から得ましたか。(いくつでも)



(n = 104)

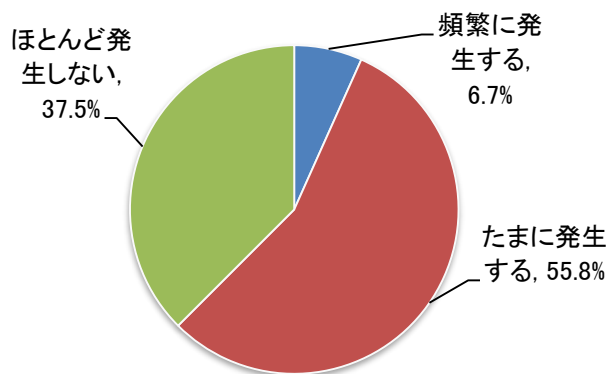
| 選択肢 | 人数 | % |
|----------------------------|----|------|
| マスコミ報道(新聞・テレビ・ラジオ・雑誌) | 95 | 91.3 |
| 講演会・シンポジウム等への参加 | 13 | 12.5 |
| 民間団体等での活動 | 23 | 22.1 |
| 事業者・民間団体等のパンフレット | 20 | 19.2 |
| インターネットやメールリングリスト、メールマガジン等 | 33 | 31.7 |
| 県・市町の広報誌 | 39 | 37.5 |
| 職場や学校から | 9 | 8.7 |
| その他 | 5 | 4.8 |

Q3 令和元年10月に「食品ロス削減推進法」が施行され、消費者、事業者、行政等の多様な主体が連携し、国民運動として、食品ロスの削減を推進することになりました。
あなたは「食品ロス削減推進法」を知っていましたか。(1つのみ)



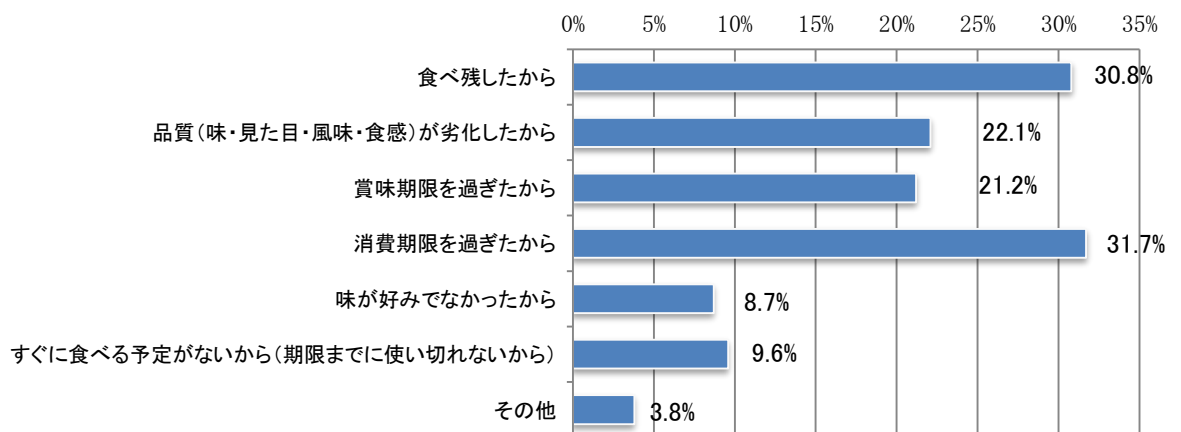
| 選択肢 | 人数 | % |
|--------|-----|-------|
| 知っていた | 38 | 36.5 |
| 知らなかった | 66 | 63.5 |
| 計 | 104 | 100.0 |

Q4 あなたのご家庭から、「食品ロス」はどれくらいの頻度で発生しますか。(1つのみ)



| 選択肢 | 人数 | % |
|-----------|-----|-------|
| 頻繁に発生する | 7 | 6.7 |
| たまに発生する | 58 | 55.8 |
| ほとんど発生しない | 39 | 37.5 |
| 計 | 104 | 100.0 |

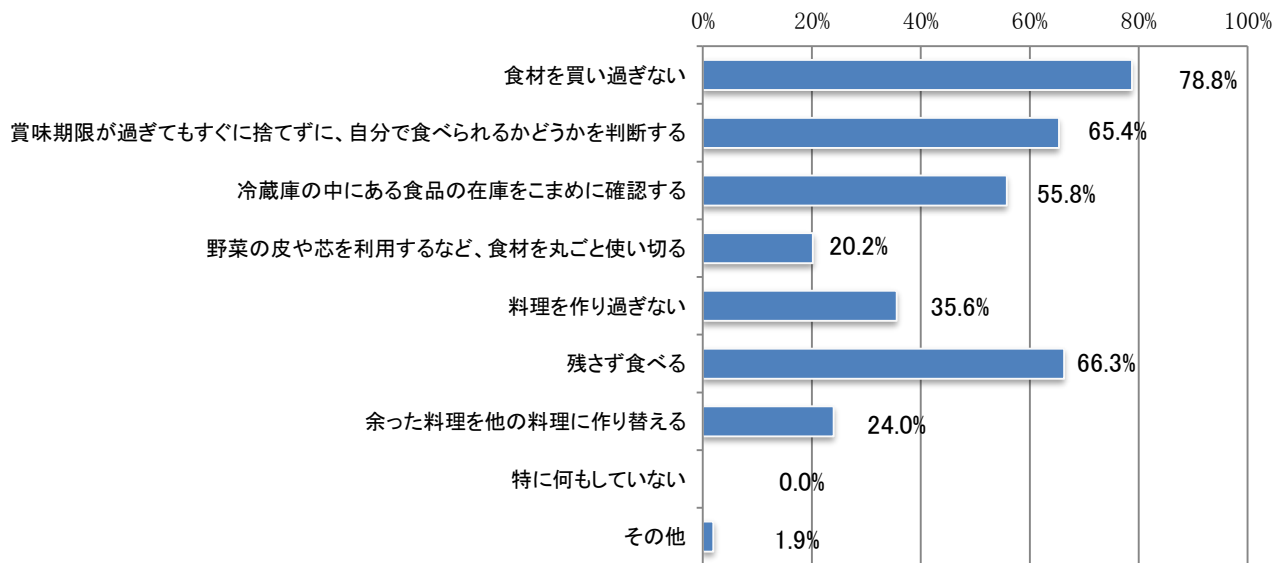
Q5 【Q4で「頻繁に発生する」又は「たまに発生する」と回答した方】
まだ食べられるのに捨ててしまう理由について、該当するものについて教えてください。
(3つまで)



(n = 104)

| 選択肢 | 人数 | % |
|------------------------------|----|------|
| 食べ残したから | 32 | 30.8 |
| 品質(味・見た目・風味・食感)が劣化したから | 23 | 22.1 |
| 賞味期限を過ぎたから | 22 | 21.2 |
| 消費期限を過ぎたから | 33 | 31.7 |
| 味が好みでなかったから | 9 | 8.7 |
| すぐに食べる予定がないから(期限までに使い切れないから) | 10 | 9.6 |
| その他 | 4 | 3.8 |

Q6 あなたは、ご家庭で、食品ロスを減らすためにどのような取組を行っていますか。(いくつかでも)

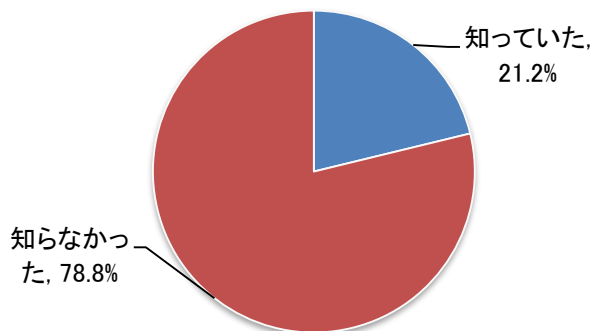


(n = 104)

| 選択肢 | 人数 | % |
|------------------------------------|----|------|
| 食材を買い過ぎない | 82 | 78.8 |
| 賞味期限が過ぎてもすぐに捨てずに、自分で食べられるかどうかを判断する | 68 | 65.4 |
| 冷蔵庫の中にある食品の在庫をこまめに確認する | 58 | 55.8 |
| 野菜の皮や芯を利用するなど、食材を丸ごと使い切る | 21 | 20.2 |
| 料理を作り過ぎない | 37 | 35.6 |
| 残さず食べる | 69 | 66.3 |
| 余った料理を他の料理に作り替える | 25 | 24.0 |
| 特に何もしていない | 0 | 0.0 |
| その他 | 2 | 1.9 |

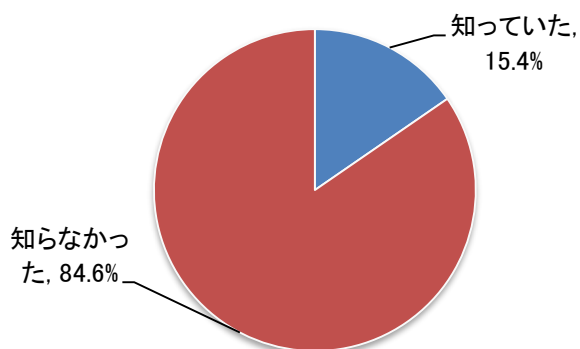
【食品ロス削減に向けた取組】

Q7 県では、外出時や家庭での食べ残しなどを減らし、やまぐちの食材を“おいしく、ぜんぶ、食べきる”「やまぐち食べきっちゃる運動」を展開しています。
あなたは、「やまぐち食べきっちゃる運動」を知っていましたか。(1つのみ)



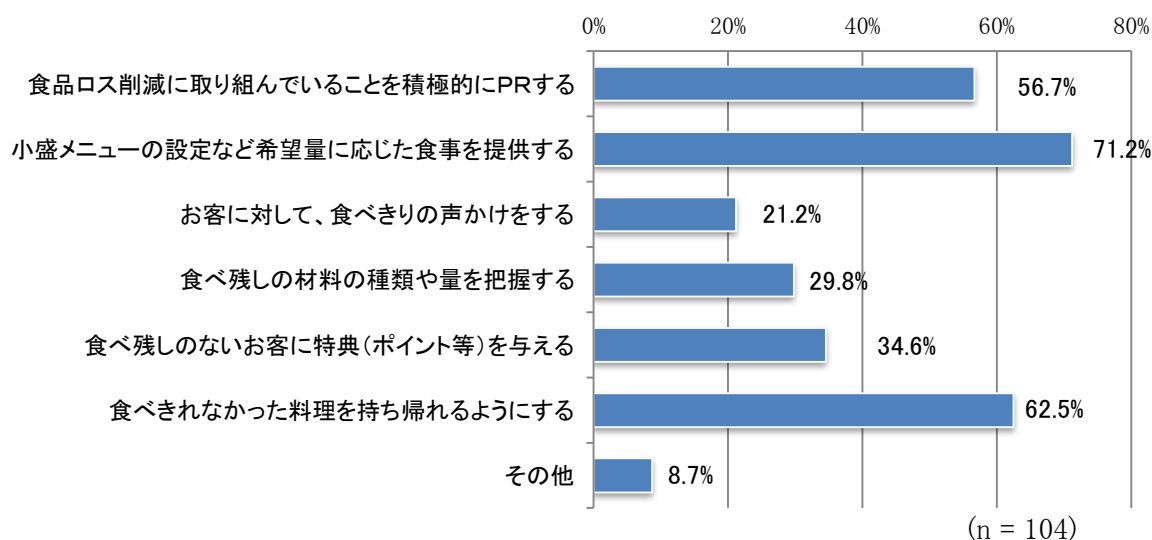
| 選択肢 | 人数 | % |
|--------|-----|-------|
| 知っていた | 22 | 21.2 |
| 知らなかった | 82 | 78.8 |
| 計 | 104 | 100.0 |

Q 8 県では、食品ロス削減の取組を実践する飲食店等を「やまぐち食べきり協力店」として登録し、県ホームページやSNS等で公開するなど、食品ロス削減の取組を推進しています。あなたは、「やまぐち食べきり協力店」を知っていましたか。(1つのみ)



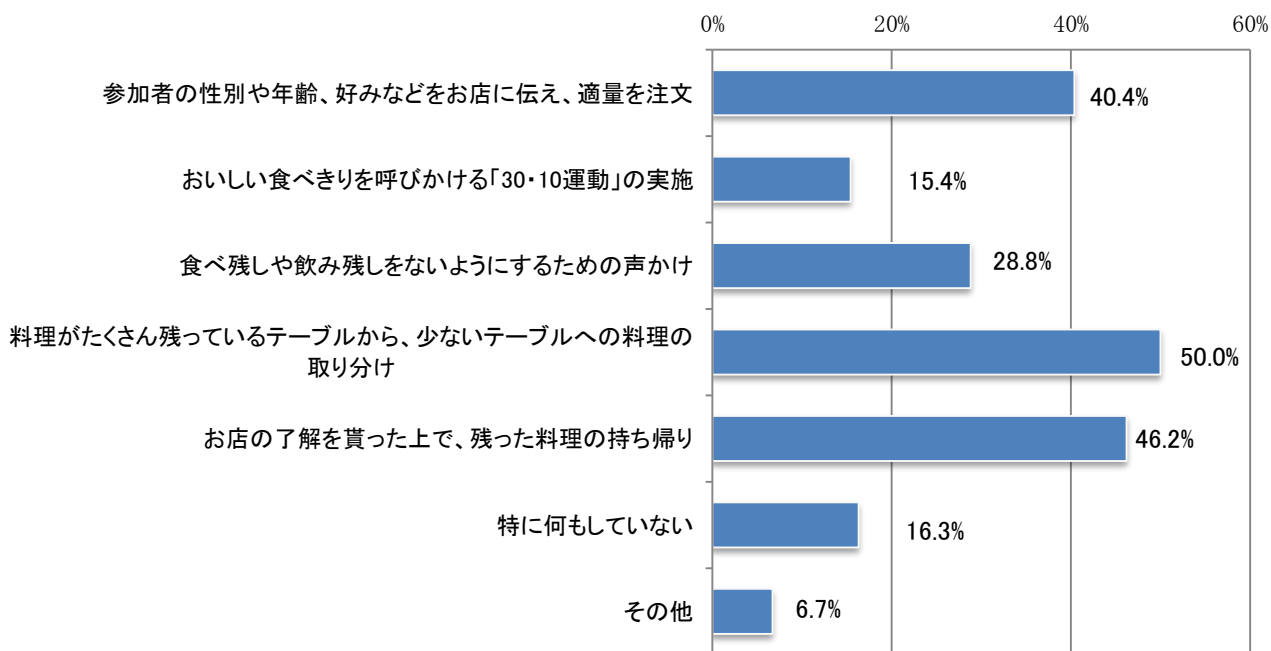
| 選択肢 | 人数 | % |
|--------|-----|-------|
| 知っていた | 16 | 15.4 |
| 知らなかった | 88 | 84.6 |
| 計 | 104 | 100.0 |

Q 9 飲食店において、食品ロスを削減するため、どのような取組が効果的だと思いますか。(いくつでも)



| 選択肢 | 人数 | % |
|---------------------------|----|------|
| 食品ロス削減に取り組んでいることを積極的にPRする | 59 | 56.7 |
| 小盛メニューの設定など希望量に応じた食事を提供する | 74 | 71.2 |
| お客に対して、食べきりの声かけをする | 22 | 21.2 |
| 食べ残しの材料の種類や量を把握する | 31 | 29.8 |
| 食べ残しのないお客に特典(ポイント等)を与える | 36 | 34.6 |
| 食べきれなかった料理を持ち帰れるようにする | 65 | 62.5 |
| その他 | 9 | 8.7 |

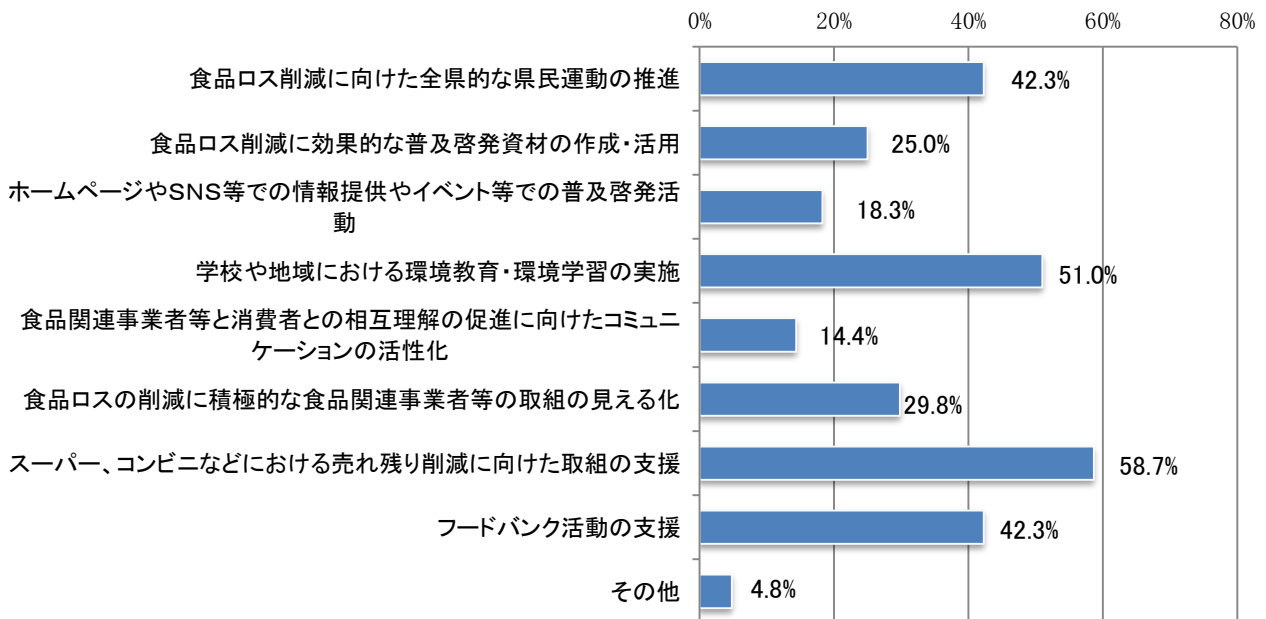
Q10 県では、宴会や食事会等での食品ロスを削減するため、30・10（さんまる・いちまる）運動や食べ残し・飲み残しを無くすための声かけなどの取組を推進しています。
あなたは、宴会や食事会等において、食品ロスを削減するため、どのような取組を行っていますか。（いくつでも）



(n = 104)

| 選択肢 | 人数 | % |
|-------------------------------------|----|------|
| 参加者の性別や年齢、好みなどをお店に伝え、適量を注文 | 42 | 40.4 |
| おいしい食べきりと呼びかける「30・10」運動の実施 | 16 | 15.4 |
| 食べ残しや飲み残しをないようにするための声かけ | 30 | 28.8 |
| 料理がたくさん残っているテーブルから、少ないテーブルへの料理の取り分け | 52 | 50.0 |
| お店の了解を貰った上で、残った料理を持ち帰り | 48 | 46.2 |
| 特に何もしていない | 17 | 16.3 |
| その他 | 7 | 6.7 |

Q11 今後、食品ロス削減の取組を推進するうえで、行政が取り組むべきことは何だと思いませんか。（3つまで）



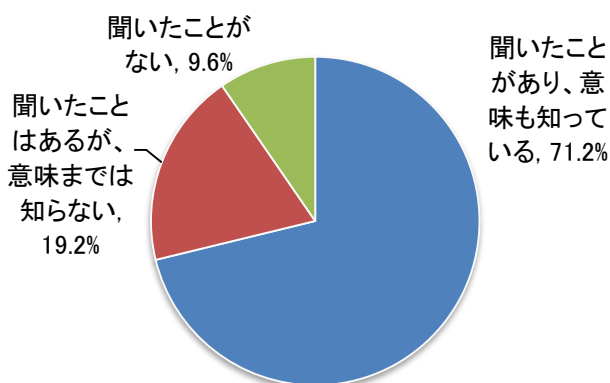
(n = 104)

| 選択肢 | 人数 | % |
|--|----|------|
| 食品ロス削減に向けた全県的な県民運動の推進 | 44 | 42.3 |
| 食品ロス削減に効果的な普及啓発資材の作成・活用 | 26 | 25.0 |
| ホームページやSNS等での情報提供やイベント等での普及啓発活動 | 19 | 18.3 |
| 学校や地域における環境教育・環境学習の実施 | 53 | 51.0 |
| 食品関連事業者等と消費者との相互理解の促進に向けたコミュニケーションの活性化 | 15 | 14.4 |
| 食品ロス削減に積極的な食品関連事業者等の取組の見える化 | 31 | 29.8 |
| スーパー、コンビニなどにおける売れ残り削減に向けた取組の支援 | 61 | 58.7 |
| フードバンク活動の支援 | 44 | 42.3 |
| その他 | 5 | 4.8 |

【フードバンク活動】

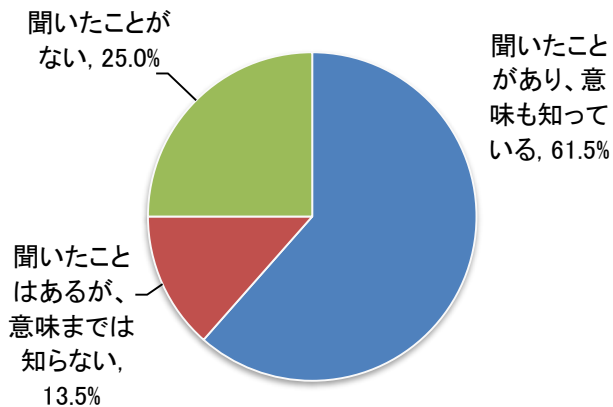
Q12 県では、食品ロスの削減に有効な「フードバンク活動」の拡大・定着を図る取組を支援しています。

あなたは、「フードバンク活動」という言葉を聞いたことがありますか。（1つのみ）



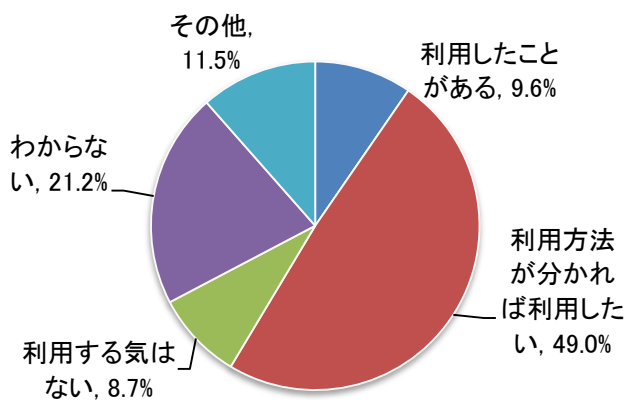
| 選択肢 | 人数 | % |
|---------------------|-----|-------|
| 聞いたことがあり、意味も知っている | 74 | 71.2 |
| 聞いたことはあるが、意味までは知らない | 20 | 19.2 |
| 聞いたことがない | 10 | 9.6 |
| 計 | 104 | 100.0 |

Q13 県内には、フードバンク活動に協力するため、食品を気軽に寄贈することができる「フードバンクポスト」が、スーパーや市役所等に設置されています。
あなたは、「フードバンクポスト」という言葉を聞いたことがありますか。(1つのみ)



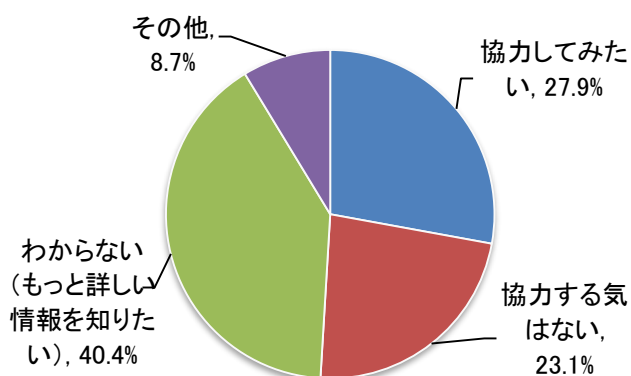
| 選択肢 | 人数 | % |
|---------------------|----|-------|
| 聞いたことがあります、意味も知っている | 64 | 61.5 |
| 聞いたことはあるが、意味までは知らない | 14 | 13.5 |
| 聞いたことがない | 26 | 25.0 |
| 計 | 71 | 100.0 |

Q14 寄贈可能な食品が家庭にあった場合、「フードバンクポスト」を利用したいと思いますか。(1つのみ)



| 選択肢 | 人数 | % |
|----------------|-----|-------|
| 利用したことがある | 10 | 9.6 |
| 利用方法が分かれば利用したい | 51 | 49.0 |
| 利用する気はない | 9 | 8.7 |
| わからない | 22 | 21.2 |
| その他 | 12 | 11.5 |
| 計 | 104 | 100.0 |

Q15 フードバンク活動には、食品の寄贈だけでなく、寄贈された食品の運搬や管理・保管作業をしてくださるボランティアの方々の協力が不可欠です。
あなたは、フードバンク活動に協力してみたいと思いますか。(1つのみ)



| 選択肢 | 人数 | % |
|----------------------|-----|-------|
| 協力してみたい | 29 | 27.9 |
| 協力する気はない | 24 | 23.1 |
| わからない(もっと詳しい情報を知りたい) | 42 | 40.4 |
| その他 | 9 | 8.7 |
| 計 | 104 | 100.0 |

Q16 食品ロス削減に関するご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。
(全角200字以内)

省略